

令和3年12月
第9回清水町議会定例会一般質問事項

質 問 者	質 問 事 項	
議 席 氏 名		
4	中河つる子	<p>1 冬期間、生活に支障の出る事柄の改善と支援について</p> <p>冬期間、生活に支障の出る事柄の改善と支援について、次の3点について伺う。</p> <p>(1) 御影駅のトイレが公衆トイレの代わりに常時使用が可能だったが、今年10月1日から御影駅のトイレは「経年による設備の老朽化のため使用禁止」となった。病院や金融機関、買い物へと徒歩で出てくる人はたくさんいる中で、旅行者も駅や街中に立ち寄る人が多い。冬期間、御影の街中で誰でも使用できるトイレがなくなり、いざという時に使用できるトイレは役場支所だけでは非常に不便であり、冬期間常時利用できるトイレの確保について伺う。</p> <p>(2) 冬期間の歩道の除雪について、特に今冬は本町で大型店が2店舗無くなり、長距離を歩いて買い物する人が増えている。通学道路のほかに買い物に使う歩道も福祉道路と位置づけ、危険のないように丁寧な除雪が必要だと思うが考えを伺う。</p> <p>(3) 現在65歳以上であって、要介護、要支援認定者、また介護予防生活支援サービス事業の対象者、運転免許返納者には「高齢者タクシー乗車券助成事業」として年間1万2千円のタクシー運賃が助成されている。これらの介護認定、生活支援サービスを利用していない高齢者も雪道にとっても危険を感じながら、歩いて用事を足したり、買い物をしている。冬期間、移動困難となる高齢者へ、「高齢者タクシー乗車券」の助成が必要だと考えるがいかがか。</p>

質 議	問 者 氏 名	質 問 事 項
6	佐藤 幸一	<p>1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について</p> <p>「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」は新型コロナウイルスの感染拡大防止と感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援などを通じた地方創生を図ることを目的に令和2年度から今まで8兆3千億円余りが交付されている。</p> <p>政府は2021年度補正予算案で6兆円超を増額する方向で調整中と報道されている。この交付金に「検査推進枠」が新設されるので、町民のPCR検査を実施する考えはないか。</p> <p>また、地域公共交通のタクシー事業の運営支援、プレミアム率のアップなどを行い、感染防止と地域経済活性化を図る考えはないか伺う。</p> <p>2 パークゴルフ場の夜間照明の復活について</p> <p>パークゴルフ場は町民の健康、体力の維持増進を図るため多くの町民に利用されているが、行財政改革で夜間照明が点灯されなくなり今日まで続いている。</p> <p>昨今の異常ともいえる猛暑に対応するために、さらに新型コロナウイルス感染防止対策として、令和4年度から夜間照明を復活する考えはないか伺う。</p> <p>3 清水高等学校魅力化の支援について</p> <p>北海道で初めて設置された総合学科の清水高等学校も、生徒数の減少により今年から1間口減の3間口となった。地元の中学校卒業生だけでは学級維持が困難な中、このまま推移するとさらに学級減が懸念される。</p> <p>新教育長の清水高等学校魅力化の支援の考えについて伺う。</p> <p>(1) 公設塾又は公設民営塾設置について</p> <p>(2) 町外者も含めた通学費の全額補助について</p>

質 問 者	氏 名	質 問 事 項
3	山 下 清 美	<p>1 ゼロカーボン実施計画について</p> <p>9月定例会で、脱炭素への取り組みについて質問したが、町は、10月1日に「ミライに繋ぐ“ゼロカーボンとから清水”」を宣言し、2050年までに町内の温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目指すと表明された。</p> <p>この実現に向けては、ゼロカーボンが喫緊の課題であると役場全体が共通認識に立ち実施計画を策定し、まち全体の理解と協力をいただかなければ実現は不可能と考える。</p> <p>そこで、次の点について町の考えを伺う。</p> <p>(1) 新年度予算編成に向けて、施設新築はもちろん各種事業で少しでもゼロカーボンに繋がらないか細部点検が必要と思うが取り組みは。</p> <p>(2) 環境省の令和4年度概算要求の自立・分散型エネルギーシステム構築事業を活用する考えはあるか。</p> <p>2 渋沢栄一を学ぶについて</p> <p>11月28日の「第3回清水町郷土文化講座」に参加し、十勝清水郷土史研究会共同代表の方から清水町の歴史を学ぶ中での十勝開墾合資会社が設立された意義が大きく感じ、清水町開拓に多くの先人がかかわってきたが、その中に渋沢栄一がいて、その思いが清水町にも流れていることに感銘を受けた。</p> <p>また、渋沢史料館の館長から「渋沢栄一の生き方」を聴き、渋沢栄一の考え方、行動、思いなどは、清水の町づくりを進めていく中で学ぶべきところが多くあると考える。</p> <p>そこで、「渋沢栄一の生き方」を子どもの学びの場、大人の学びの場を継続し、深めていく考えについて伺う。</p>

質	問	者
議	席	氏
氏		名
		<p>3 障がい者の社会参加について</p> <p>今年の東京パラリンピックを見て、選手自身がそれぞれの特性を持った中で、一人ひとりが極限の力を発揮し躍動している姿に感動を覚えた大会であった。</p> <p>選手一人ひとりが戦っている姿を見て、この大会をとおして、改めて、すべての人がお互いの違いを受け入れて尊敬し合い、思いやりを持って支え合う社会にならないといけないとの思いを深くした。</p> <p>そこで、違いを受け入れて特性のある方の社会参加に向けた考えを伺う。</p>

質 問 者		質 問 事 項
議 席 氏 名		
5	鈴木孝寿	<p>1 ドッグランの設置における効果と今後の運営について</p> <p>10月に設置された清水公園内のドッグランは、多くの利用があったと思う。これらを受けて、次年度以降の運営における検討されるべき問題や、さらなる利用アピールの考えについて、現時点での町長の考えを伺う。</p> <p>2 デジタル化の推進と清水町の将来像について</p> <p>本町では農村地域への光回線の設置を現在行っており、また、商店街等ではキャッシュレス決済を推進し、アナログからデジタルへの移行期が本格的に迎えていると思われる。これらを受け、十勝管内においてはスーパーシティ型国家戦略特別区域に応募する自治体もある中で、本町の第6期清水町総合計画を踏まえつつ、具体的なデジタル化への推進の在り方と清水の将来像への考え方について下記のとおり町長に伺う。</p> <p>(1) 役場サービスのデジタル化の考えについて (2) スマート農業の取り組みについて (3) 町民生活に向けた取り組みについて (4) 総合計画に基づくアクションプランの策定について</p>

質 問 者		質 問 事 項
議 席 氏 名		
2	川 上 均	<p>1 「清水町男女共同参画基本計画」策定の取り組み</p> <p>町では本年4月に「女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画」が策定されたが、今日コロナ禍により改めて女性の雇用、賃金を始めとする男女間格差が浮き彫りになった。そこで、男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮することができる指針となる「清水町男女共同参画基本計画」策定の取り組みについて町長の考えを伺う。</p> <p>2 スクールバスの運営課題と今後の取り組み</p> <p>スクールバスは平成12年度から順次委託化され、現在は完全委託されているが、委託料の適正化について、どのような対応がされているのか。運転手の高齢化に対する運行の安全確保は、どのように行われているか。コロナ禍による運営課題も含めて、今後の委託の在り方について教育長の考えを伺う。</p> <p>3 除排雪の町内会等サポート制度創設の取り組み</p> <p>高齢者世帯では年々高齢化による除排雪が困難な状況にある中で、頼りとなるシルバー人材センターによる担い手不足、町保健福祉課による高齢者世帯への除雪も限界があり、除排雪は切実な問題となっている。そこで、町内会等の地域住民の協力による除排雪に対するパートナー制度の創設について町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 小型除雪機械購入の補助制度 (2) 小型除雪機械借上補助制度 (3) 町内会排雪時の排雪費用補助制度 (4) 滑り止め焼砂の配布による交差点事故防止</p>